

会社説明会

2021年12月10日



東洋刃物株式会社

証券コード：5964

1. 東洋刃物の概要…………… p2

2. 東洋刃物の強み…………… p17

3. 業績の概要…………… p23

4. 中期経営計画…………… p28

5. 今後の見通し…………… p40

6. 株主還元…………… p42



家庭用の包丁やハサミではありません



製造現場で使われる刃物です



NEW

■ ■ グループ会社（中国）

杭州東洋精密刀具有限公司

■ ■ 本社（宮城県）

■ 販売拠点（国内）

仙台営業所 東京営業所
名古屋営業所 大阪営業所
広島営業所 国際事業所

■ 生産拠点（宮城県）

富谷工場
多賀城事業所

■ 販売拠点（マレーシア）

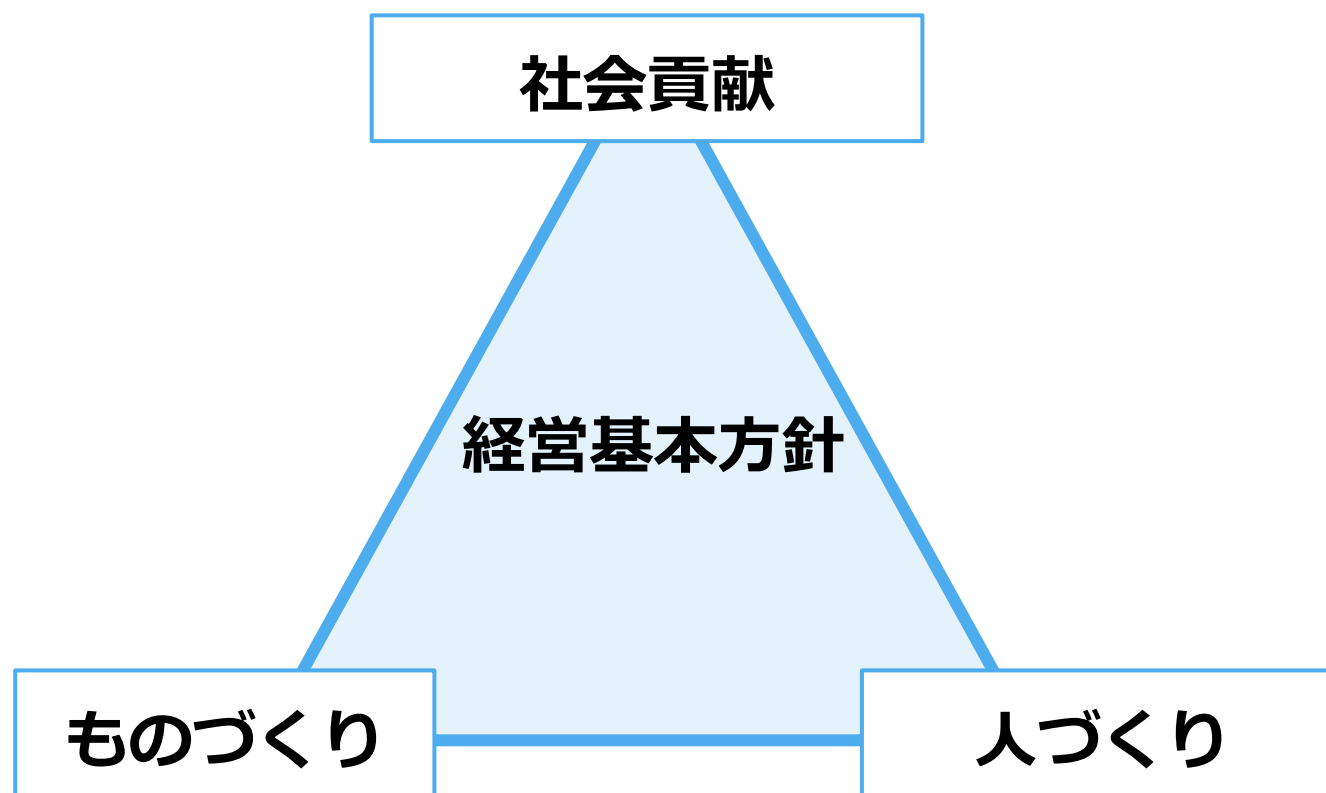
クアラルンプール支店
シブ事務所

■ ■ グループ会社（宮城県）

株式会社トオハ
東洋緑化株式会社

■ 販売拠点
■ 生産拠点

社は「創造と信頼」



1920's

1925年 ▶ 創立

当時、工業用機械刃物はほとんどが輸入品



2010's

金属学の世界的権威であった、
東北帝国大学（現東北大学）附属金属材料研究所所長
本多光太郎博士の提唱により仙台市に設立

2020's

「産学連携」の会社として

現在も東北大学と共同で研究・開発を実施

1920's

2011年 ▶ 東日本大震災により本社・多賀城工場が被災

2012年 ▶ 多賀城工場の操業を一部再開

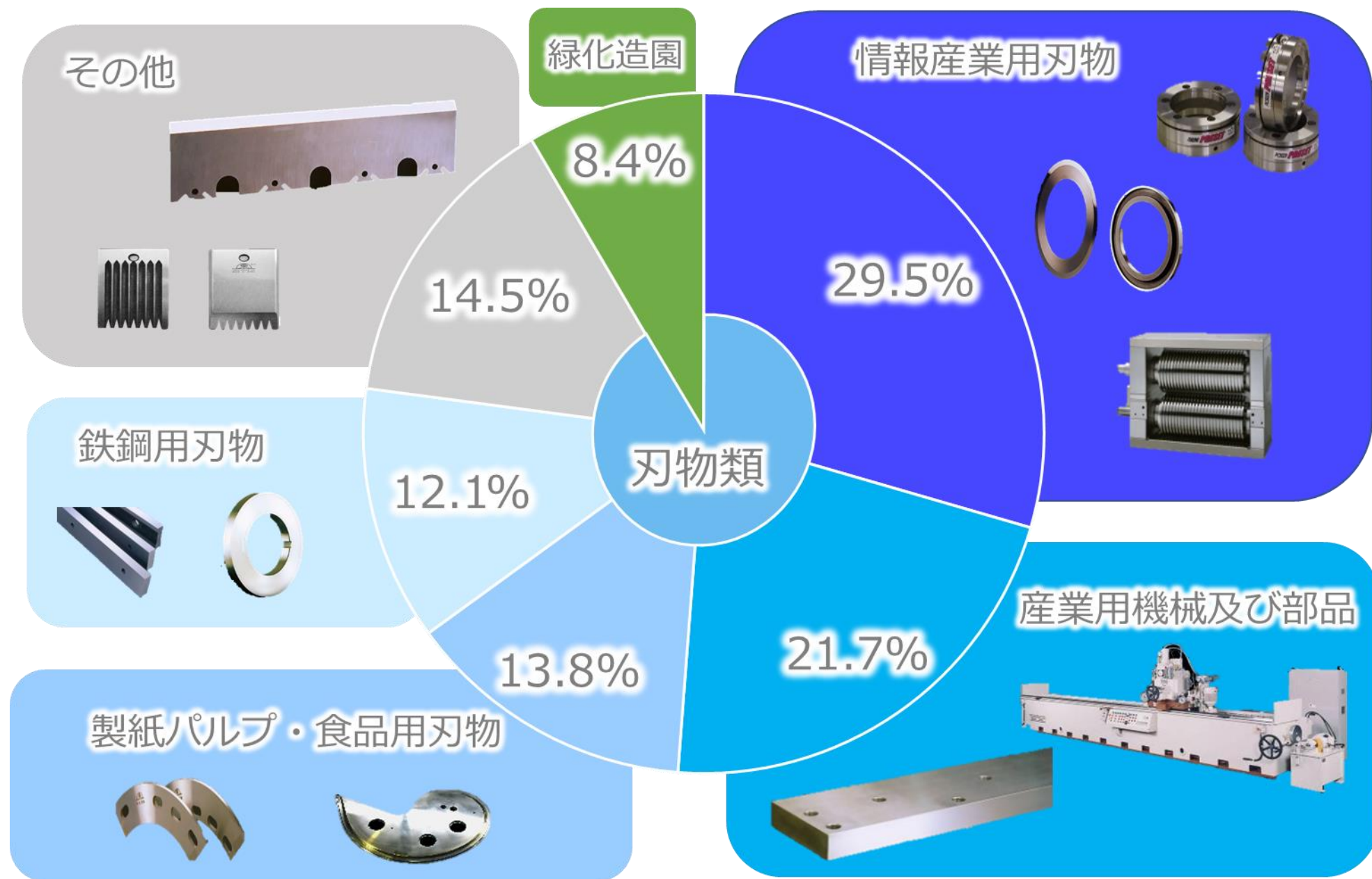
2010's

2016年 ▶ 地域中核企業活性化ファンド（REVIC）と
資本業務提携契約の締結
（2019年5月13日付契約終了）

2020's

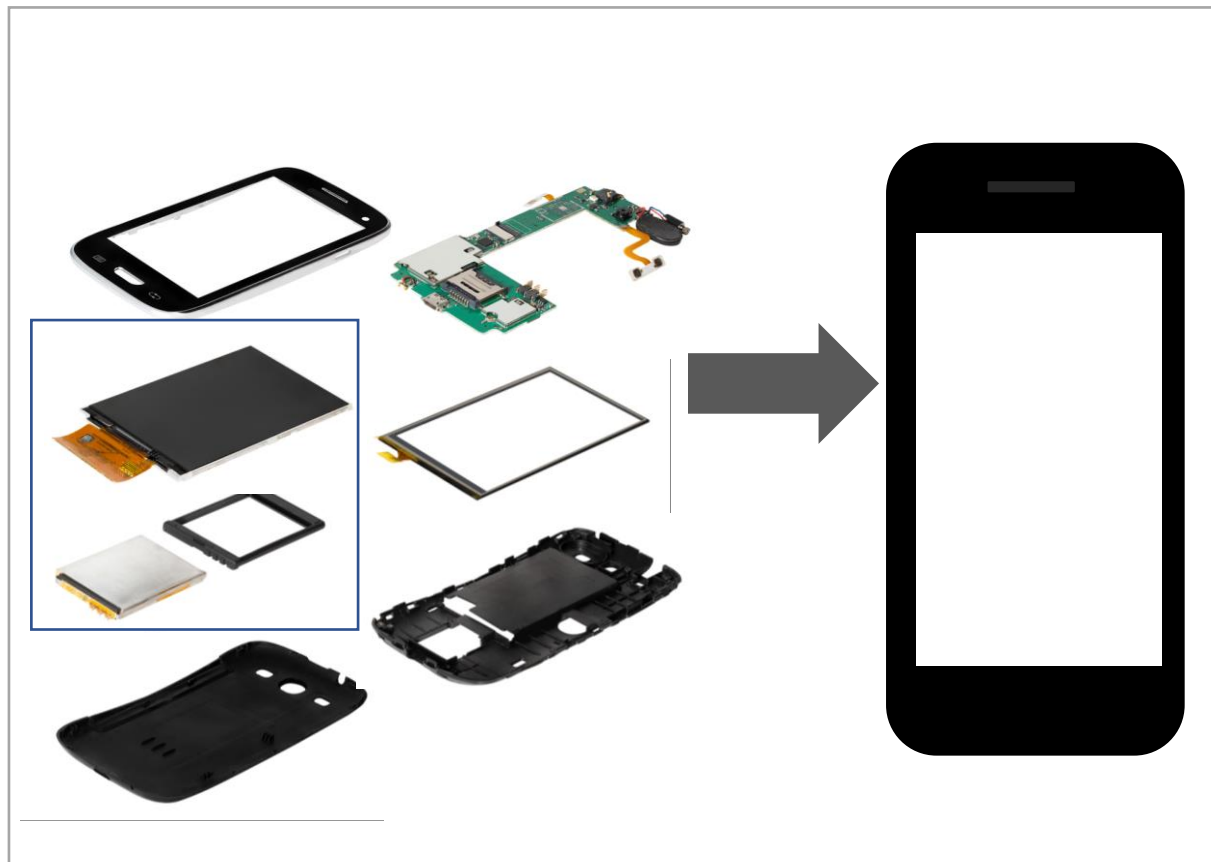
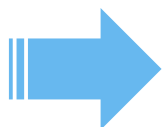
2019年 ▶ 株式会社フェローテックHDと
資本業務提携契約の締結

2021年 ▶ 中国杭州市に子会社設立



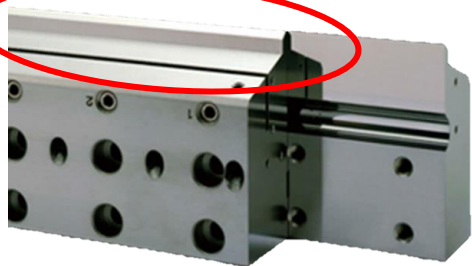
スマートフォン用の部品を切断

スリッターナイフ



液晶の加工

コーティングダイ



ガラス・フィルムへ
液晶などの溶剤を塗布

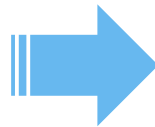
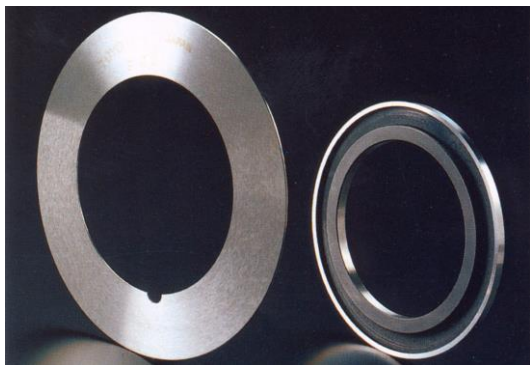


自動車用鋼板の切断

シャープブレード

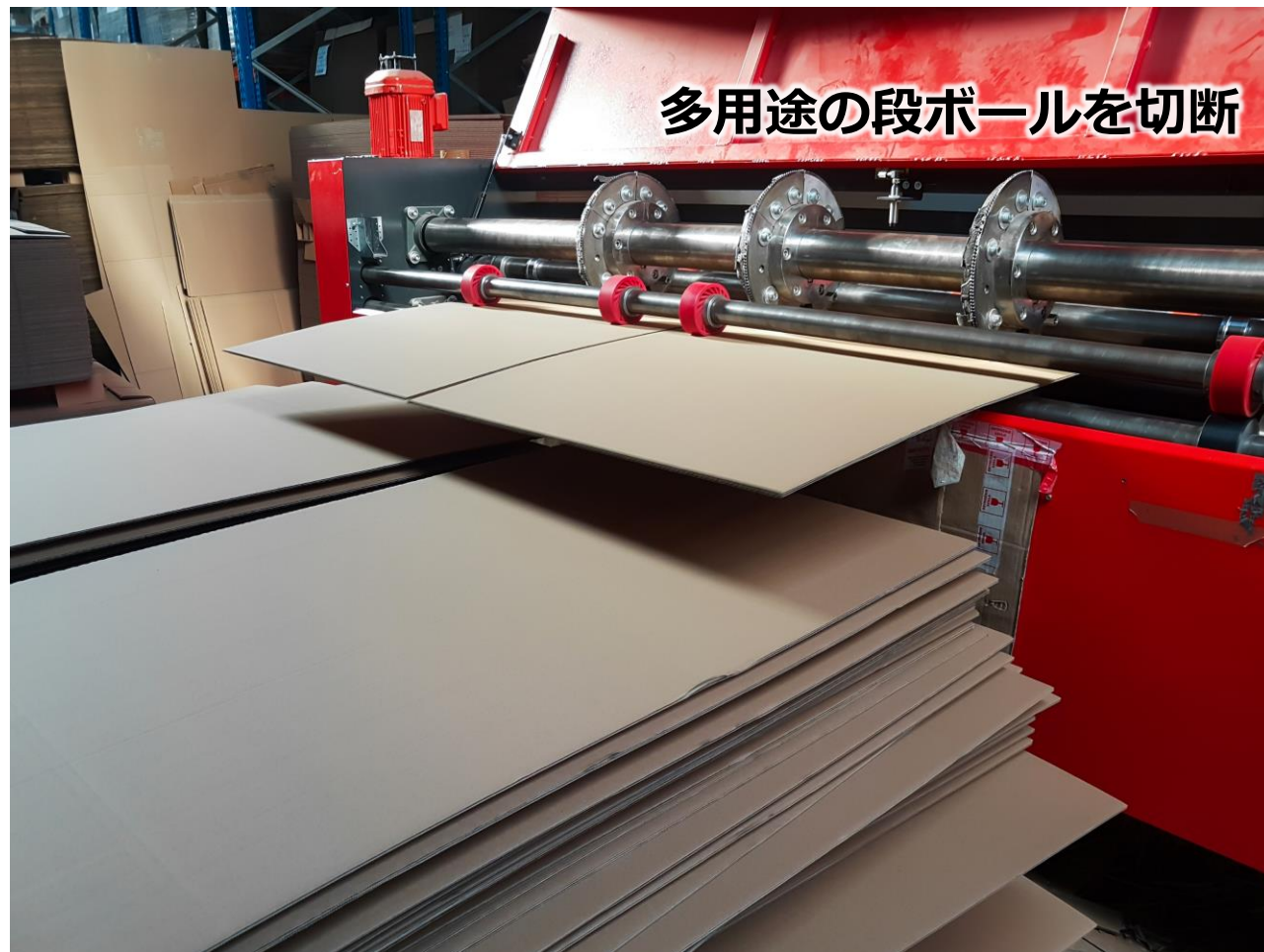


サイドトリマー



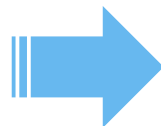
段ボールの切断

段ボールカッター

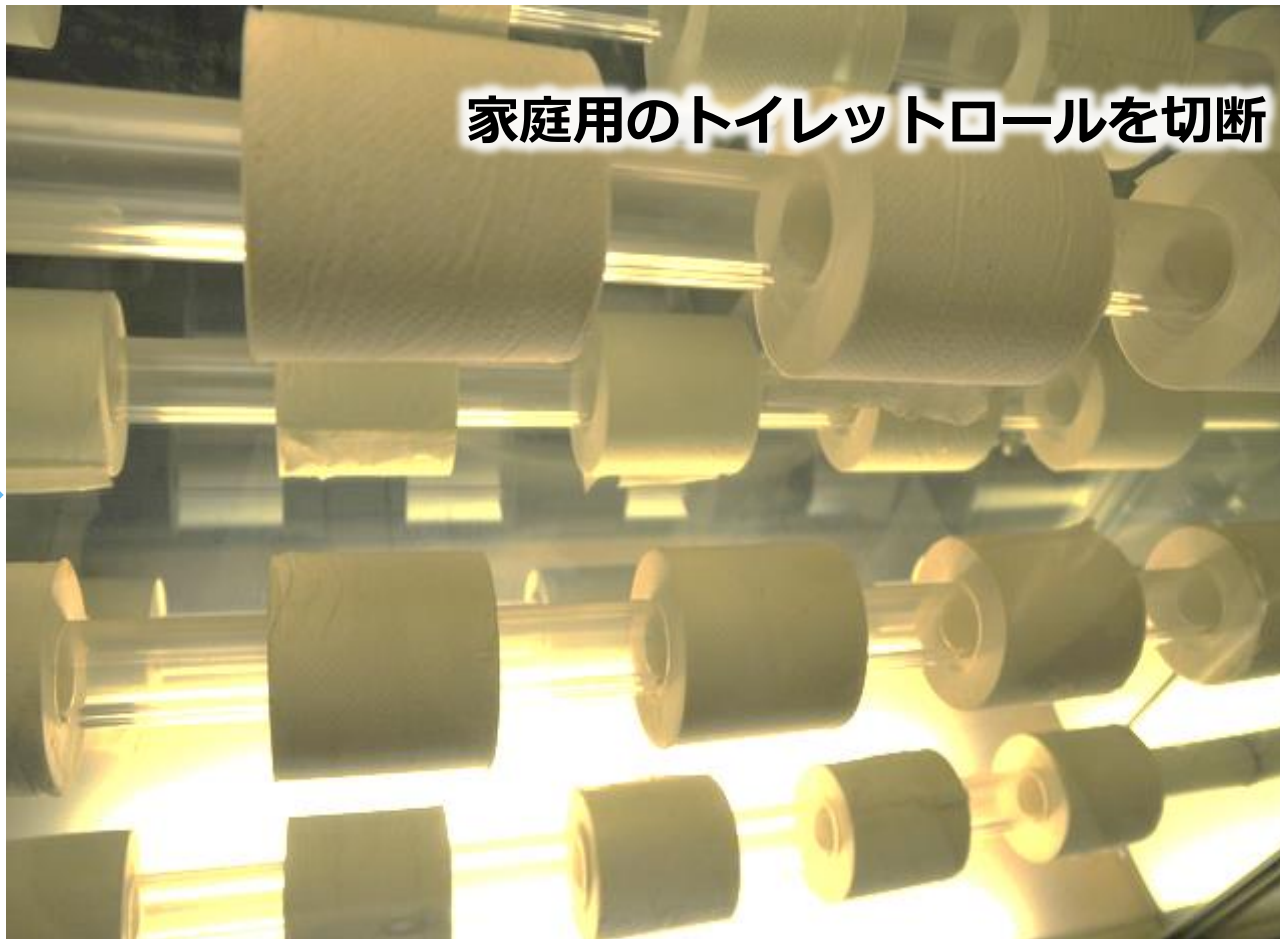


トイレットロールの切断

ログティッシュカッター

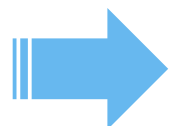


家庭用のトイレットロールを切断



食肉・野菜をカット

ミートスライサー



スライサーナイフ（野菜切用）



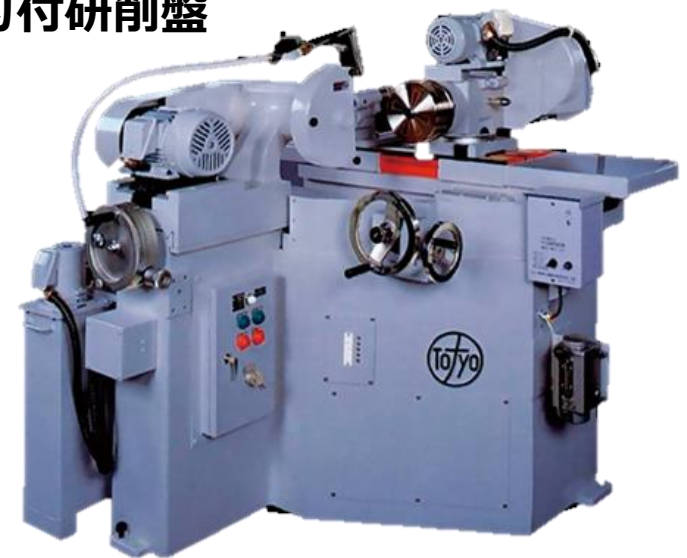
肉や野菜をスライス

産業用機械及び部品の製造

平刃刃付研削盤



丸刃刃付研削盤



機械の摺動面に使われる



拡大図

摺動部品（スライドウェイ）

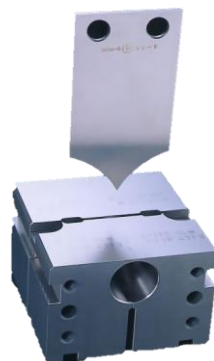


トレッドカッター



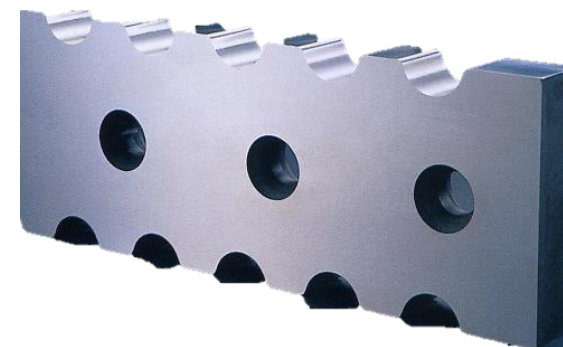
タイヤのヒゲ除去切断用

パイプカッター



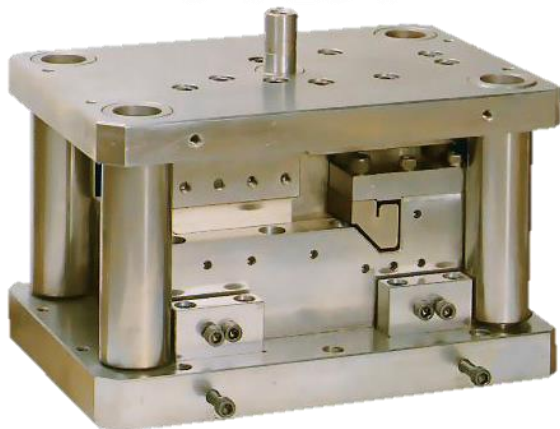
パイプ切断用

コールドシャー



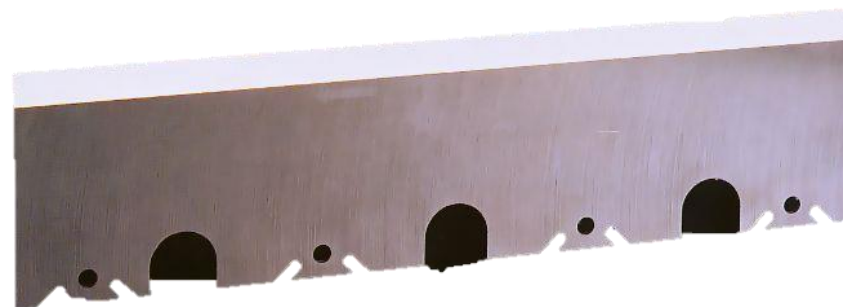
棒鋼、アングルバー切断用

ダイセット



ガードレール等形鋼の切断用

チップパーナイフ



パルプ木材をチップ状に切断

1．東洋刃物の概要…………… p2

2．東洋刃物の強み…………… p17

3．業績の概要…………… p23

4．中期経営計画…………… p28

5．今後の見通し…………… p40

6．株主還元…………… p42

創業90余年で培った確かな技術力①

▶ 高精度移動式ナイフホルダー (2019年グッドデザイン賞受賞)

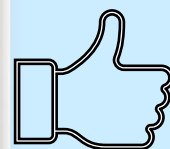
・・・加工機に刃物を取り付けるために必要不可欠な部品



 GOOD DESIGN AWARD
2019年度受賞



- ◆課題であった 安全性・利便性と精度の両立を実現
- ◆刃物のセッティング時間も短縮



お客様の生産性向上に貢献し、高い評価をいただいております。

登録特許：7件 特許出願中：5件 意匠登録：8件（日本・中国・台湾）

創業90余年で培った確かな技術力②

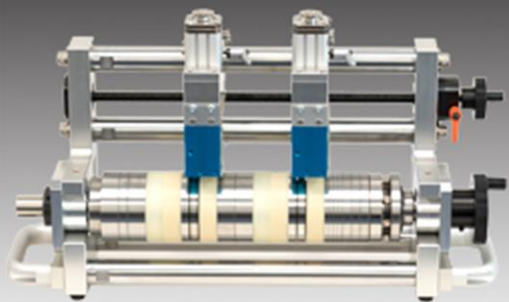
▶Laboシリーズ

・・・場所を選ばず手軽にスリットできる小型試験機

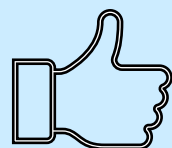


Labo-Basic

- ◆ 「より簡単な環境で切断試験を行いたい」
というご要望により新製品を開発
- ◆ これまで10機種を開発



Labo-Swing

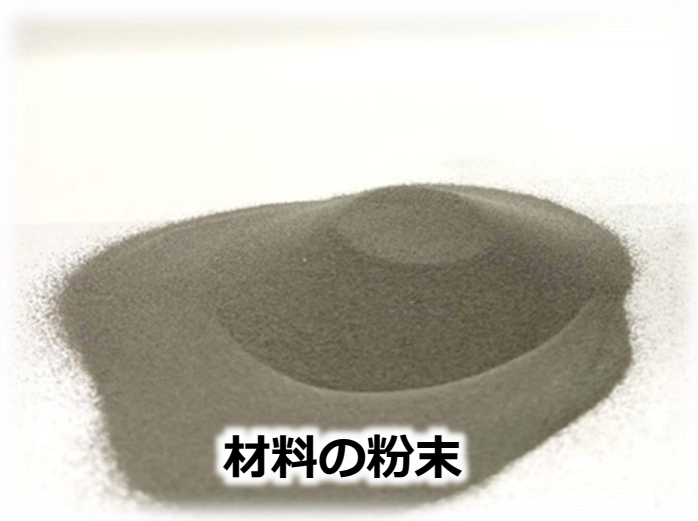


生産ラインを止めずに自社で
気軽に切断試験ができ、
お客様より大変ご好評をいただいております。

創業90余年で培った確かな技術力③

▶ CCM合金

・・・硬く、欠けにくく、錆びにくい金属素材



材料の粉末

◆開発経緯

東日本大震災での海水による塩害
→錆びにくい刃物の開発

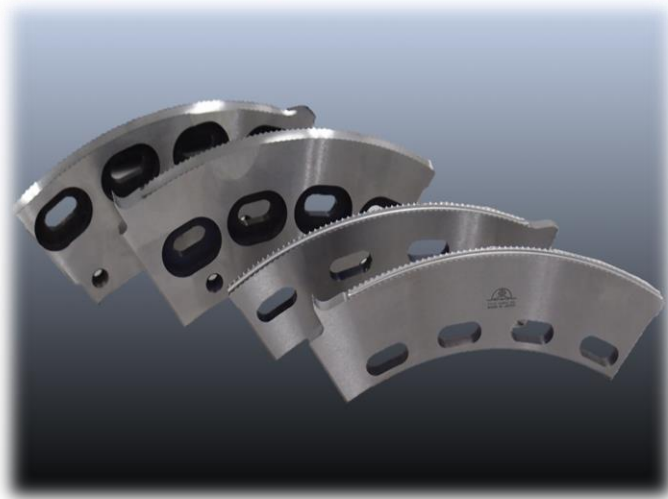
◆東北大学との共同研究

- “金属版3Dプリンター”を活用
- 課題であった硬度と欠けにくさの両立を実現
- 高硬度、高靱性（＝欠けにくい）、高耐食性の素材を初めて開発

登録特許：2件 特許出願中：2件

創業90余年で培った確かな技術力④

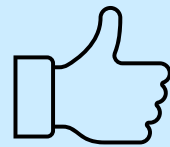
▶ 新型段ボール用刃物開発



- ◆ 長年の加工技術に基づき
お客様のニーズを捉えたご提案
- ◆ 当社の特殊技術を採用



刃の寿命が従来より約1.5倍増加



お客様から品質面の課題が改善したと
ご好評をいただいております。

幅広い顧客基盤



- ◆刃物の製造技術を応用し、各種部品も製造
- ◆様々な分野で使われており、約3,800社のお客様と取引

1. 東洋刃物の概要…………… p2

2. 東洋刃物の強み…………… p17

3. 業績の概要…………… p23

4. 中期経営計画…………… p28

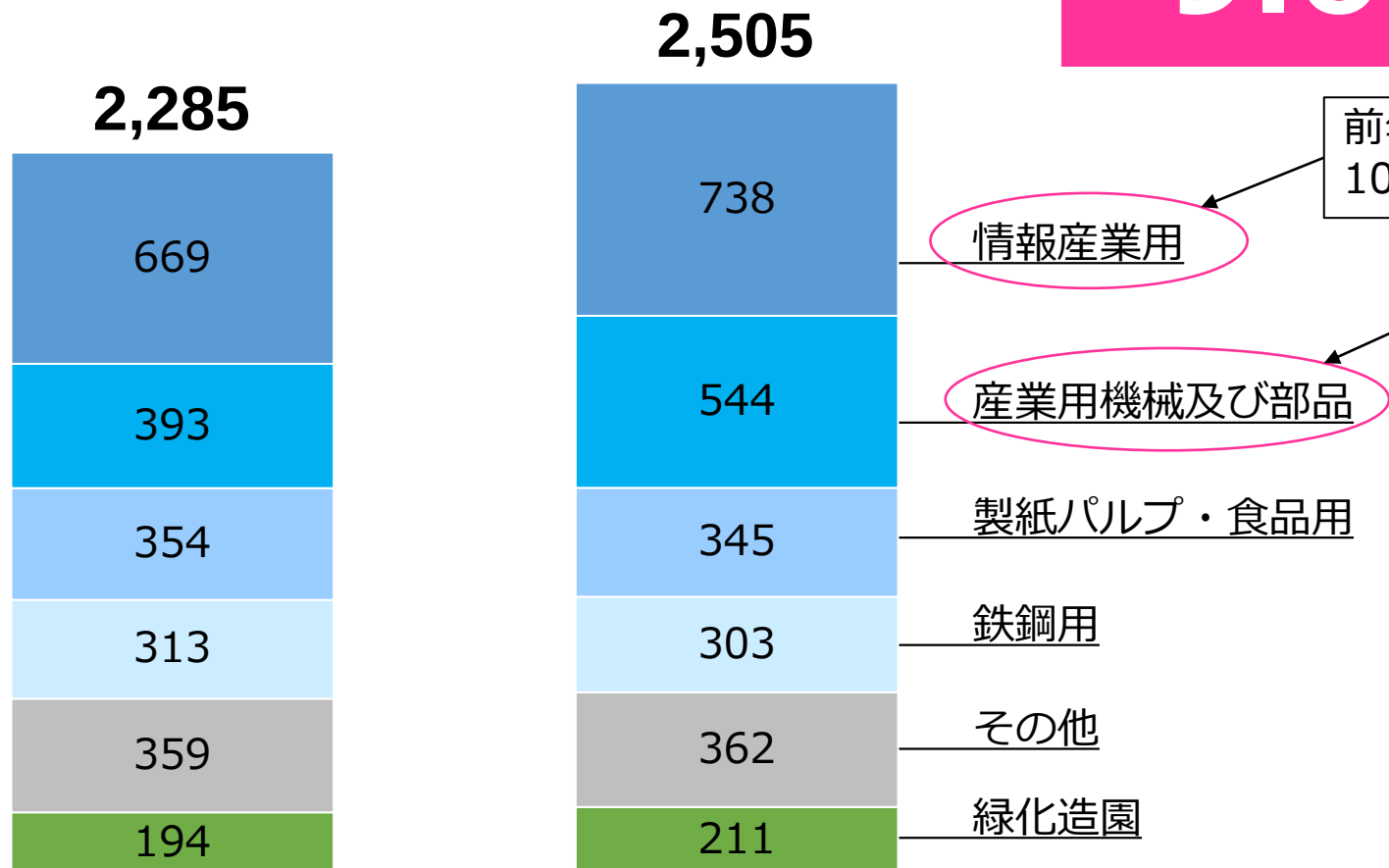
5. 今後の見通し…………… p40

6. 株主還元…………… p42

売上高

（単位：百万円）

対前年同四半期比
9.6%増



2021年3月期
(第2四半期)

2022年3月期
(第2四半期)

営業利益（単位：百万円）

91

2021年3月期
（第2四半期）

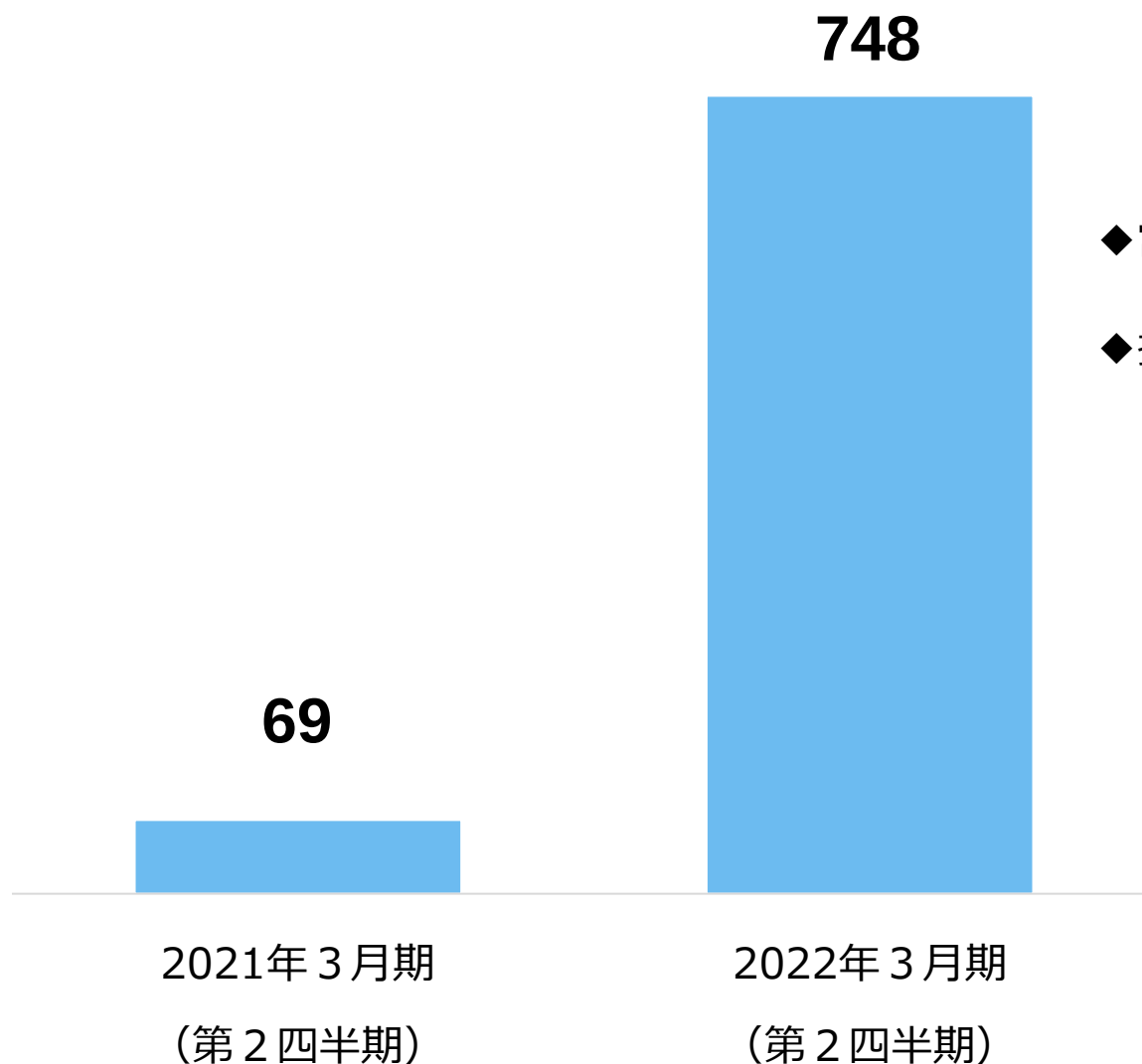
162

2022年3月期
（第2四半期）

対前年同四半期比
78.4%増

- ◆高付加価値、高精度精密製品への営業活動を積極的に展開
- ◆主力製品を中心に売上高の増加
- ◆生産性の向上ならびにコストダウン

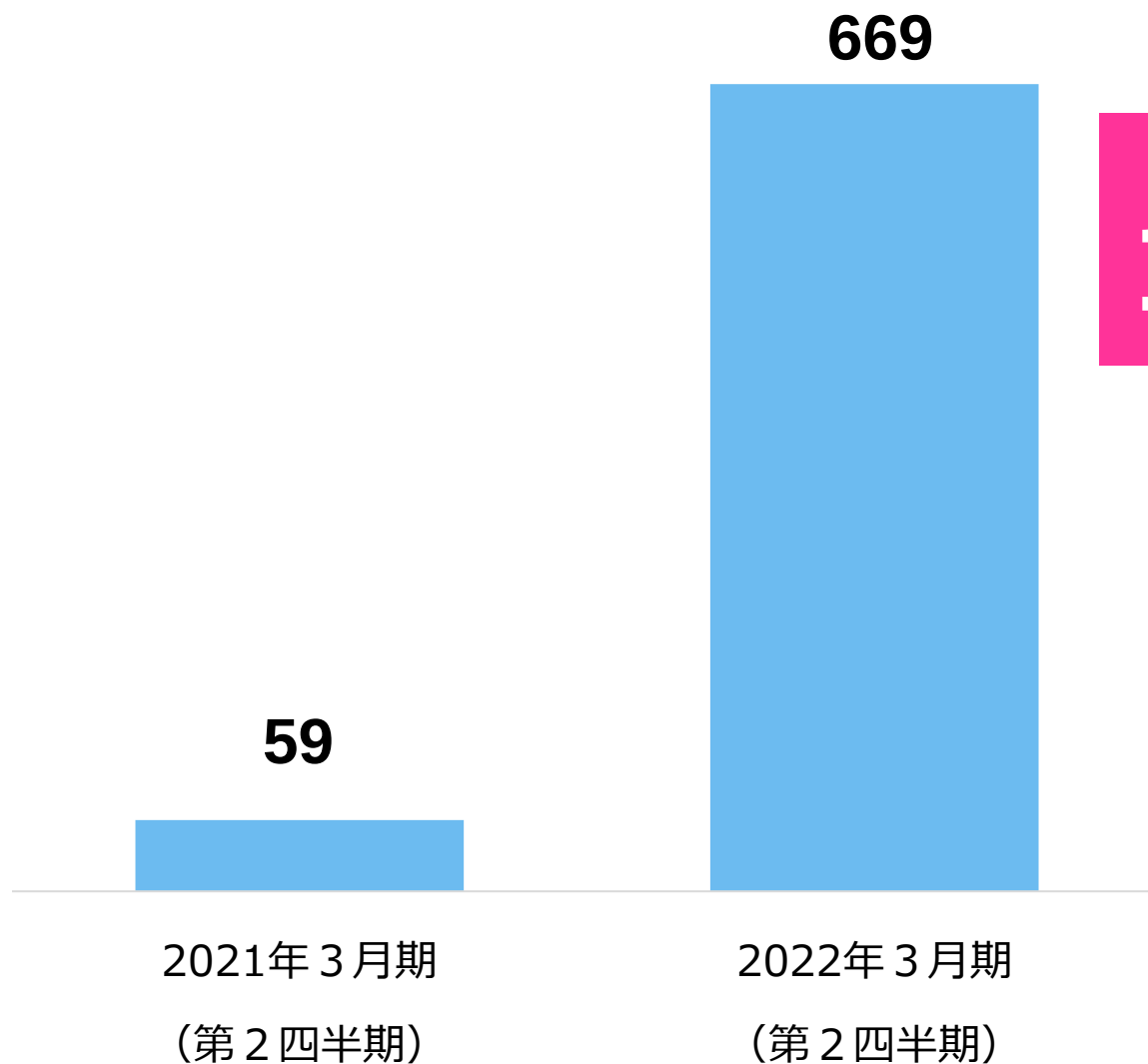
経常利益（単位：百万円）



対前年同四半期比
975.1%増

- ◆ 営業利益率改善が影響
- ◆ 持分法による投資利益が影響（588百万円）

四半期純利益（単位：百万円）



対前年同四半期比
1,029.7%増

1．東洋刃物の概要…………… p2

2．東洋刃物の強み…………… p17

3．業績の概要…………… p23

4．中期経営計画…………… p28

5．今後の見通し…………… p40

6．株主還元…………… p42

創立100周年に向けた成長の基盤づくり

中期経営計画期間

2020年4月～2023年3月（3カ年計画）

基本方針

技術力を基に顧客指向のモノづくりを通して
創造力・競争力をより一層高め、強固な経営基盤を確立する

経営ビジョン

- 当社の強みである情報産業用刃物・部品に関連するイノベーションに参画し、高品質・高付加価値製品の需要を取り込む
- お客様の高度な要求に適う研究開発品を市場に投入し、収益性の向上とともに持続的な成長を図る
- 海外への事業展開も図り創立100年、そしてその先を見据えた強固な体制を目指す

重点施策

収益性・市場性を念頭に置いた事業ポートフォリオを見直し

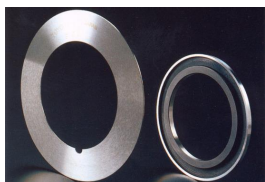
拡販戦略品種

情報産業用

MS

Micro slitter (knife)

スマートフォン内部の部品の切断



MSC

Micro slitter carbide

Li-ion電池素材を切断



産業用機械及び部品

SW

Slide way

工作機械等の摺動部品



製紙パルプ・食品用

CIK

Circular knife

段ボールの切断
食肉の薄切り



鉄鋼用

SBS

Shear blade square

鋼板のせん断(自動車のボディ)



SBR

Shear blade round

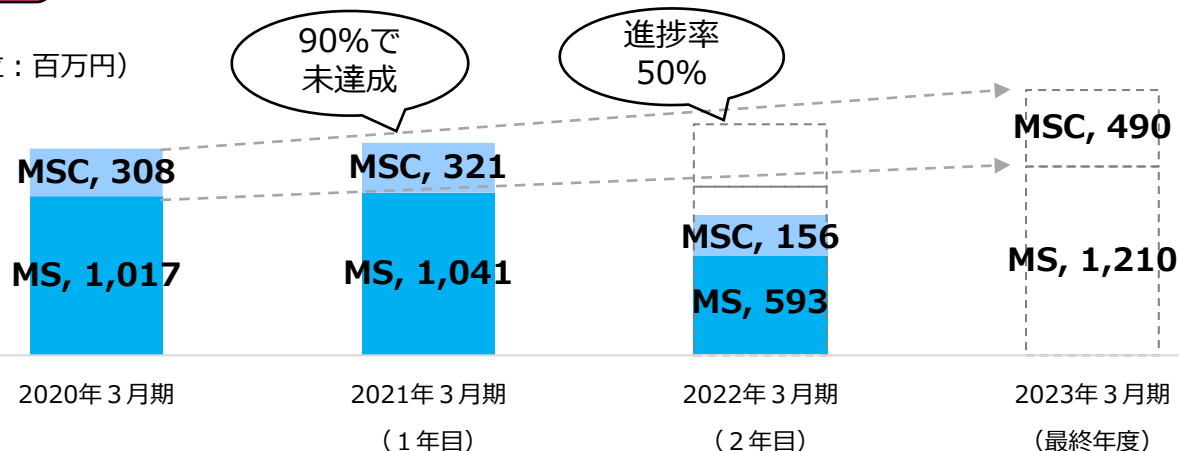
鋼板の両サイドのトリミング



!

情報産業関連市場の拡大に伴い、関連する高精度精密製品を最重要戦略品種と位置づけ

(単位：百万円)



- 5G・半導体関連製品への拡販
- 中国市場への展開
- 機械メーカーへの拡販
- 炭素繊維・サステナブル素材業界への拡販

重点施策

研究開発への設備投資および製品化

■新製品リリース



Laboシリーズ
（研究部門向け小型試験機）



アドヴァンスヘッド
（ナIFEユニット）



アドヴァンスヘッド・試験用ユニット（Laboシリーズ）を中心に展示会でPR

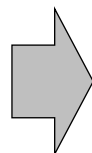


- ・2022年3月機械要素展(東京)出展予定
- ・4月中部パック(名古屋)出展予定
- ・webなどオンラインでの展開と共に動画の積極活用を図る（YouTubeなど）

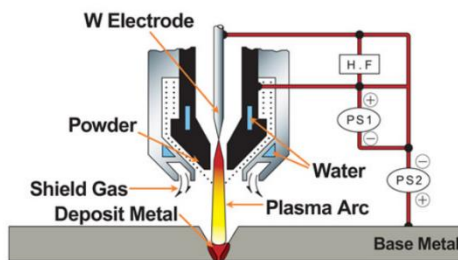
■開発テーマの製品展開

主な開発テーマ

- 東北大学共同研究
- 仙台高等専門学校共同研究
- 新素材研削加工技術の構築
- 非磁性新素材の開発
- 新素材の特性調査
- その他



大型製品を対象とした
PTAクラッド技術の
適用を優先



PTA（プラズマ粉体肉盛）技術の製品展開

対象製品：製紙パルプ用、食品用、鉄鋼用、機械部品等

進捗状況

- ・2021.3月～
PTA設備導入完了
（付帯装置：2021.10～）
- ・2021.12月～
試作品製作開始
- ・2022.4月～
製造開始（予定）

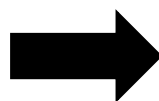
重点施策

生産性を重視した生産体制の構築

新たなKPIとしてROA（総資産経常利益率）を導入し展開

2020年3月期（実績）

1.8%



2023年3月期

5.0%以上

効率的な利益創出のために

主な取り組み

■ 生産設備投資

…国内工場において増産計画に対応した設備への投資や、省人化、コア技術を取り入れた設備への投資

■ 生産方式の見直し

…納期遵守率100%を念頭に、工程ごとの適正数量をコントロールした生産体制で、棚卸資産の圧縮や費用低減につなげる

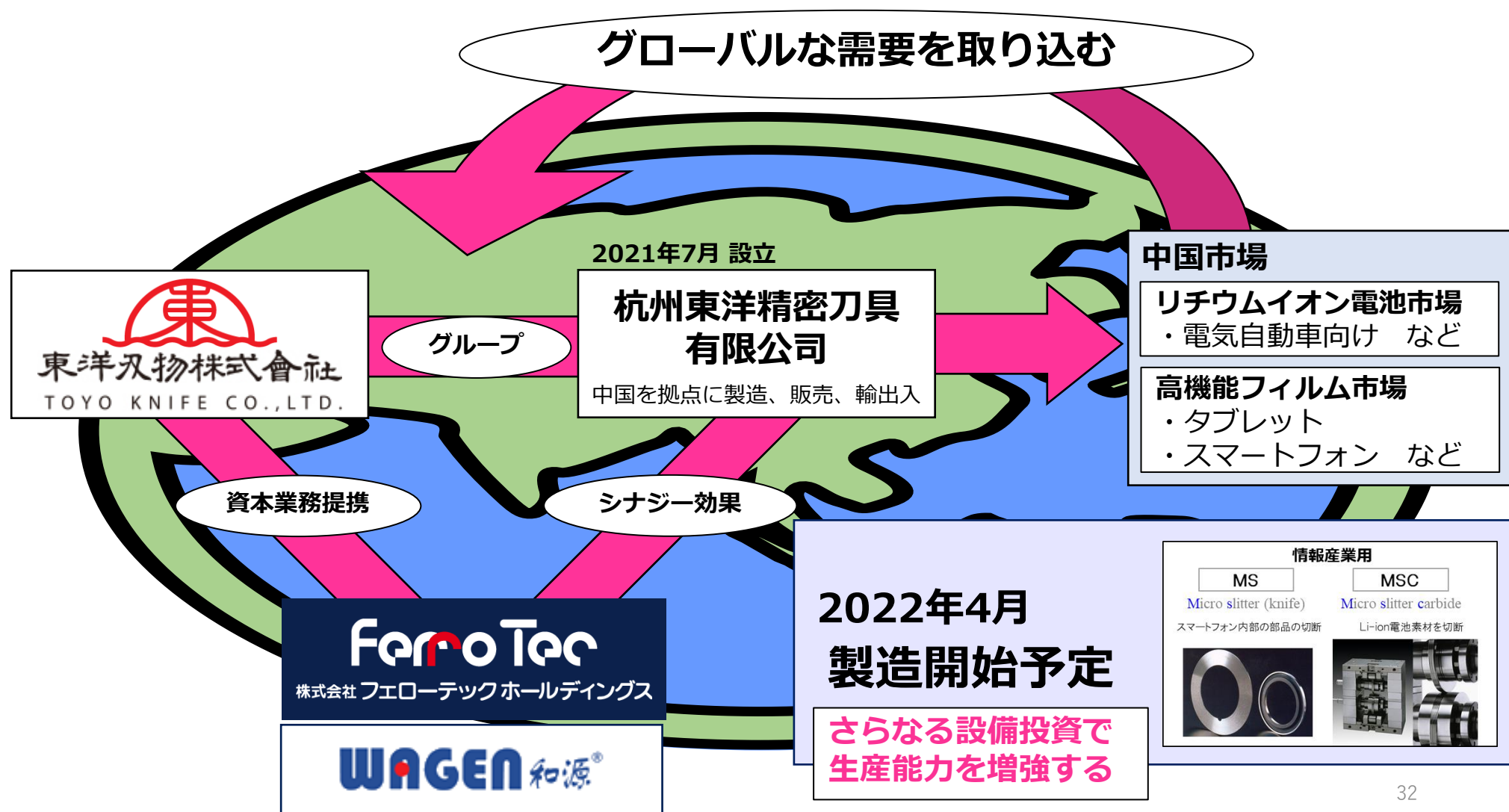
■ 棚卸資産一元管理システム開発

…貯蔵品等の棚卸資産の一元管理で、適正在庫を把握、管理し、棚卸資産を圧縮

など

重点施策

中国杭州市において“杭州東洋精密刀具有限公司”を設立



SDGsへの取り組み

企業間共同開発 『刃先検査装置の開発』

9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



SDGs No.9 産業と技術革新の基盤をつくろう
従来測定方法から光による新測定方法での刃先測定

12 つくる責任
つかう責任



SDGs No.12 つくる責任 つかう責任
食品業界の丸刃においては品質保証の強化による食の安全性向上

宮城県試作開発系補助金【グループ開発型】

『金属粉末によるクラッティング製品の開発』

9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



SDGs No.9 産業と技術革新の基盤をつくろう
従来製造方法から金属3D造形方法による工業用刃物の製造

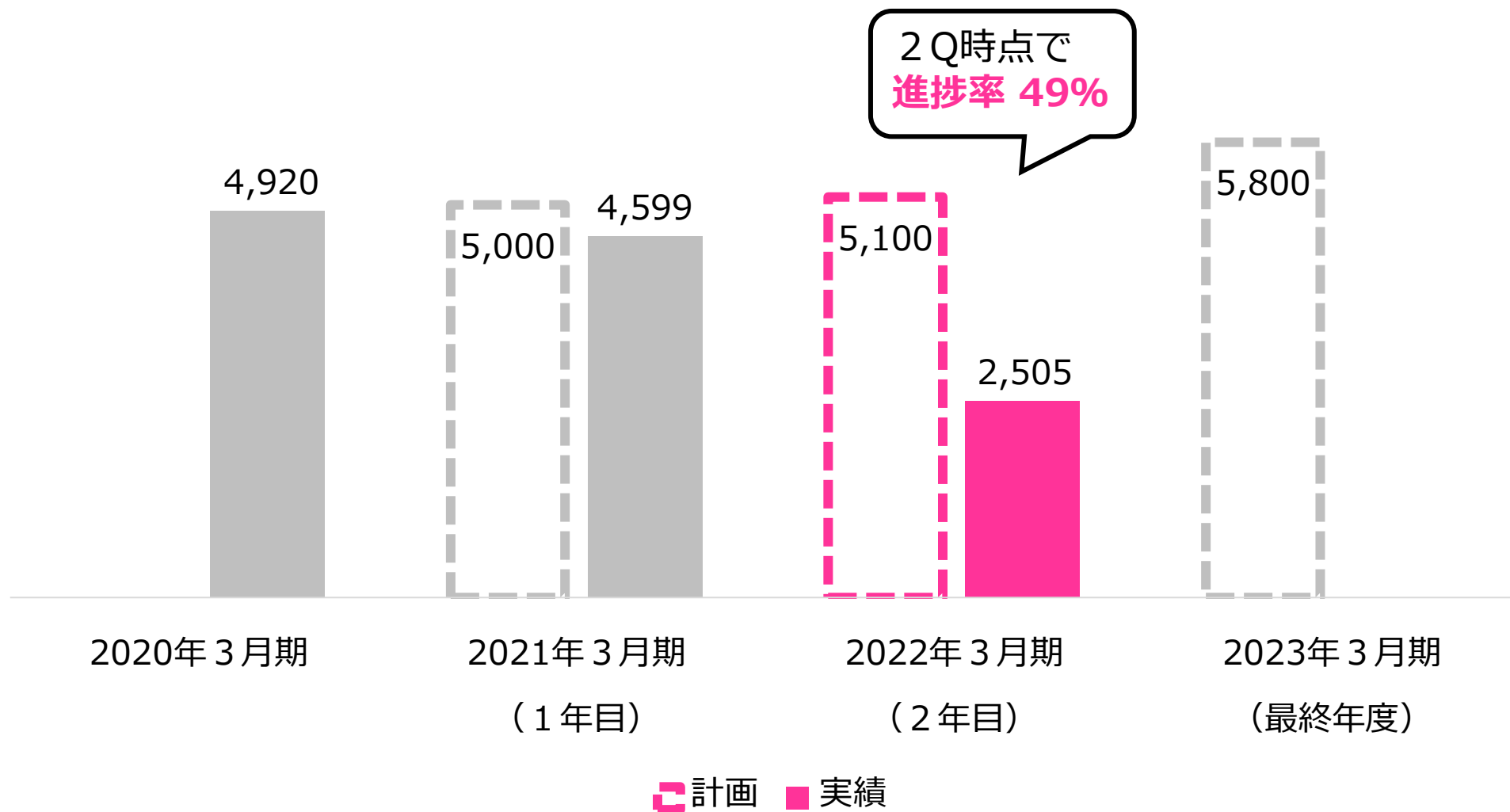
12 つくる責任
つかう責任



SDGs No.12 つくる責任 つかう責任
端材、廃材を金属粉末化・再利用し製品を提供する

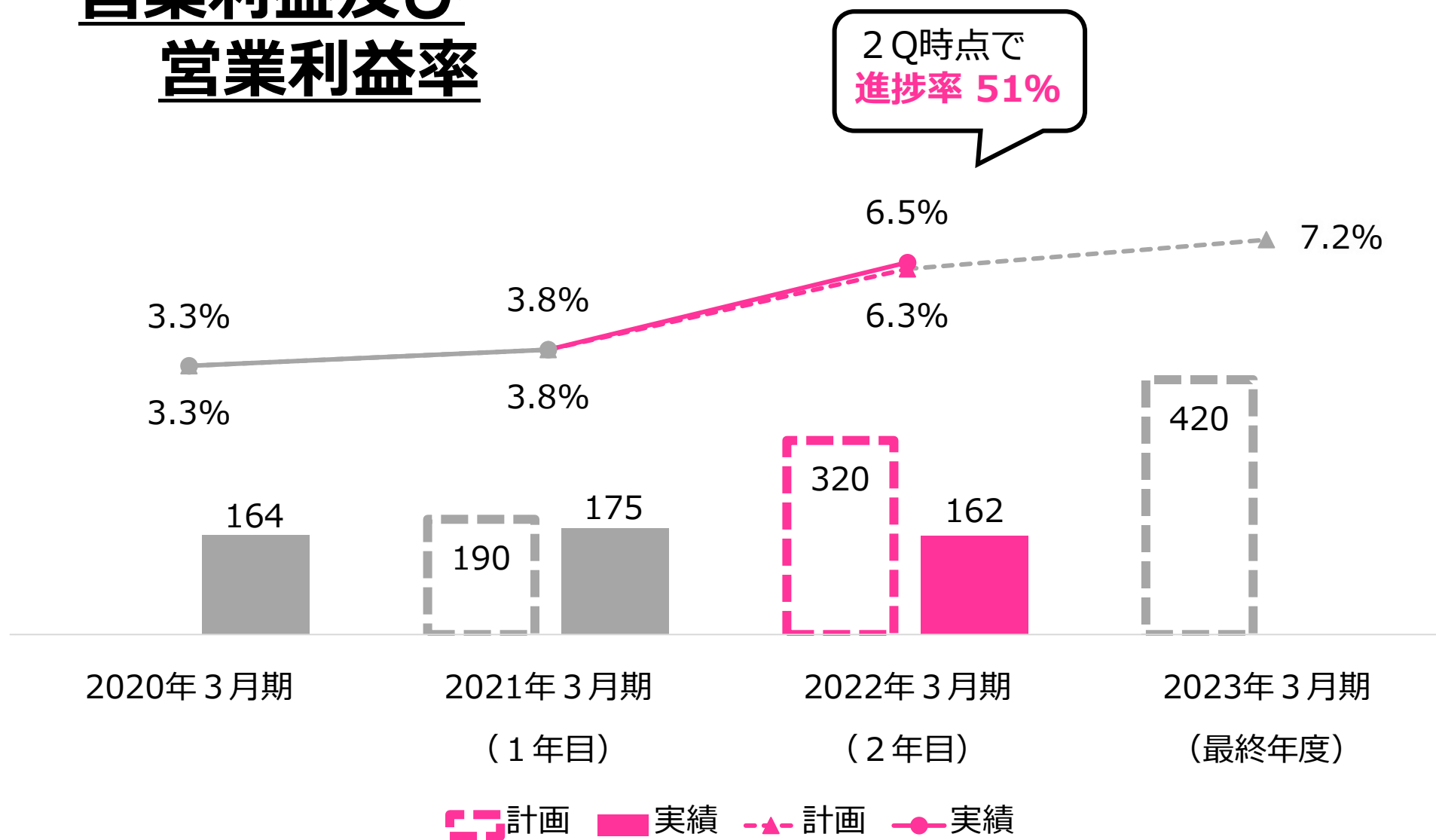
売上高

(単位：百万円)



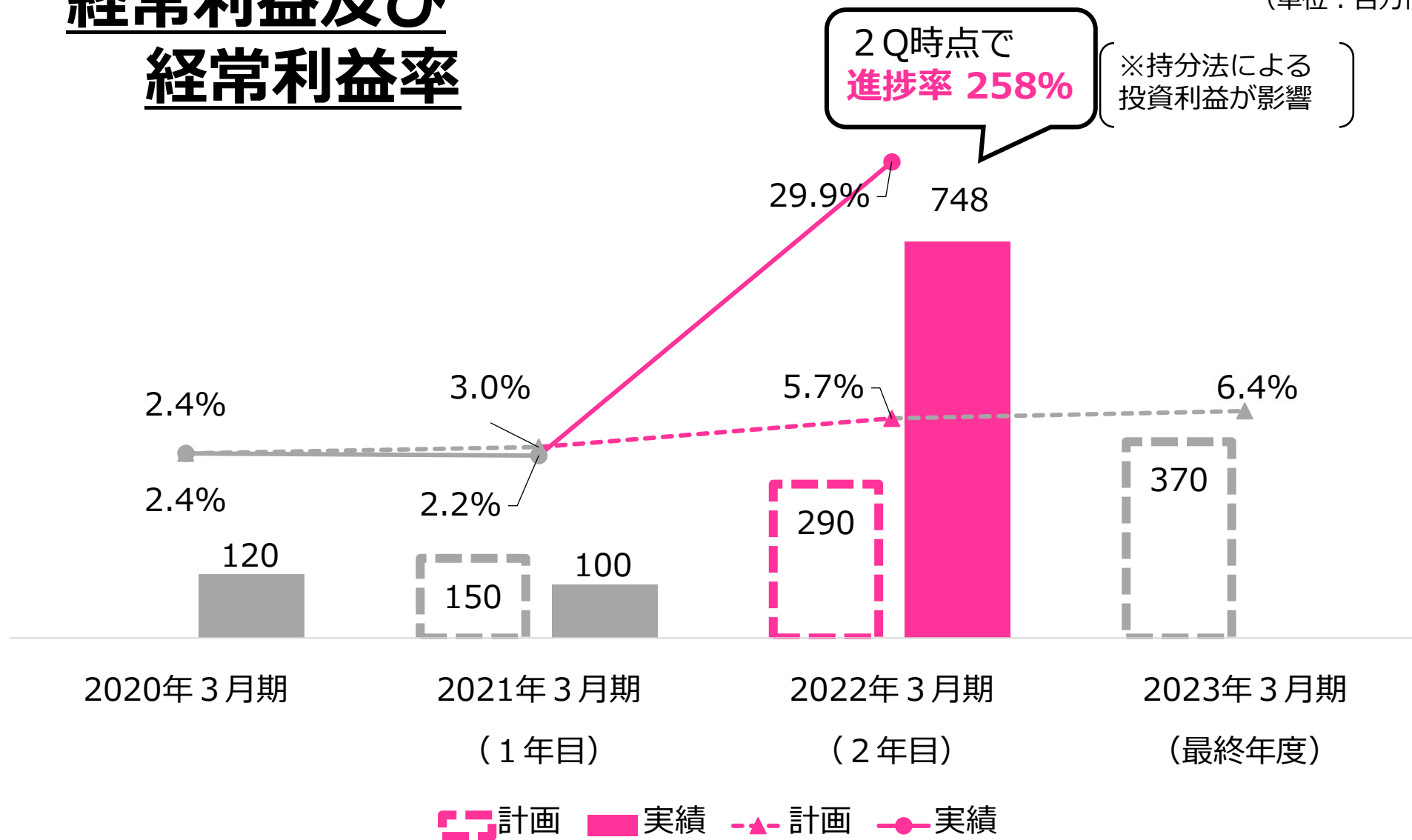
営業利益及び 営業利益率

(単位：百万円)



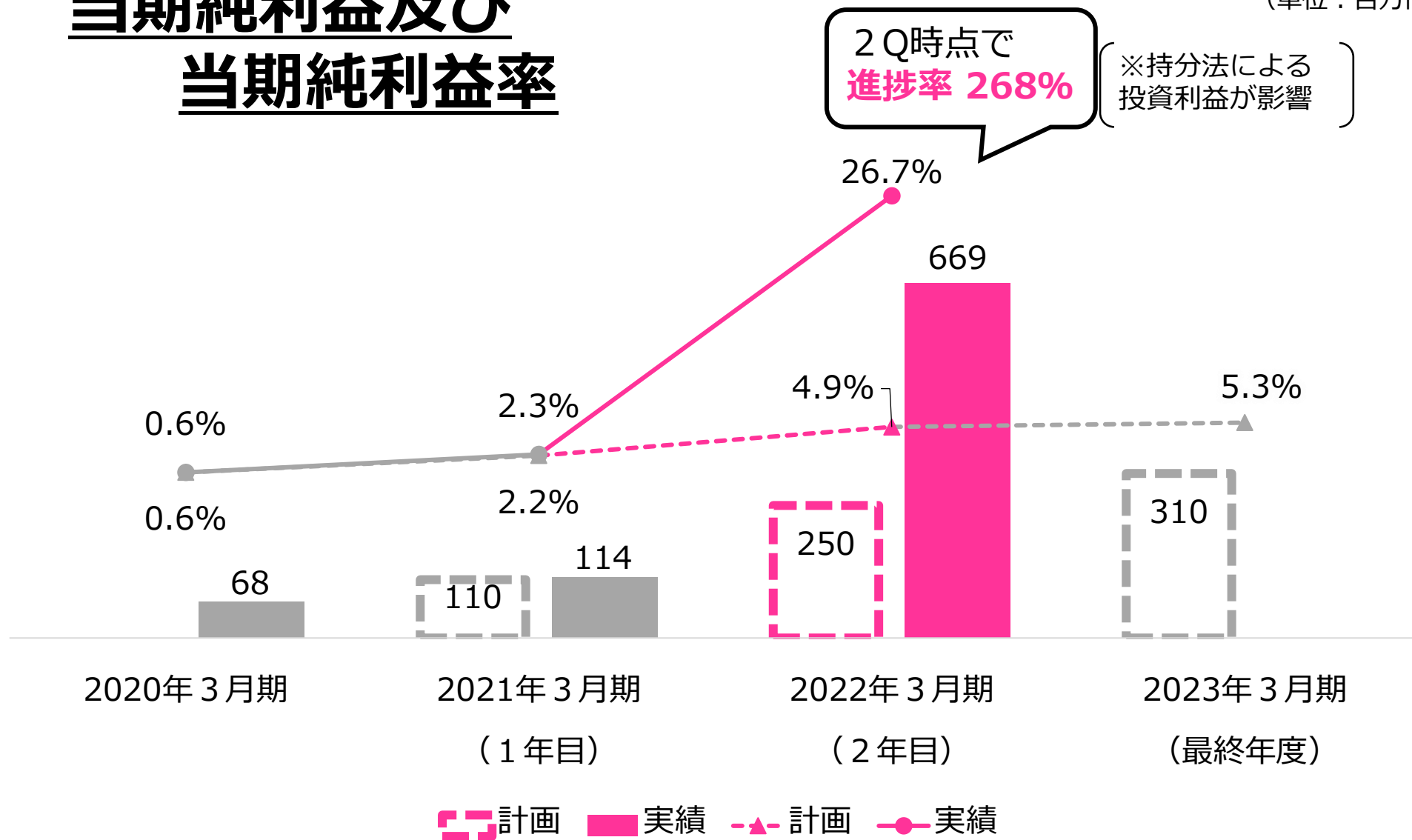
経常利益及び 経常利益率

(単位：百万円)



当期純利益及び 当期純利益率

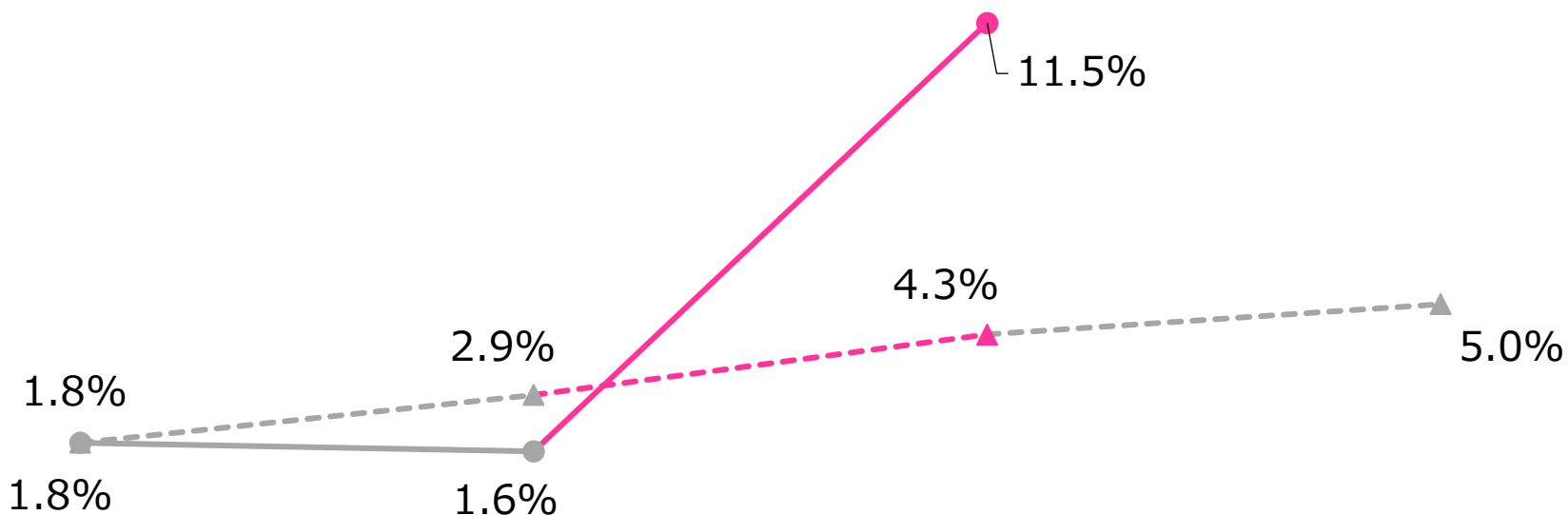
(単位：百万円)



ROA (総資産利益率)

(単位：%)

2Q時点
持分法による
投資利益が影響



--▲-- 計画 --●-- 実績

1．東洋刃物の概要…………… p2

2．東洋刃物の強み…………… p17

3．業績の概要…………… p23

4．中期経営計画…………… p28

5．今後の見通し…………… p40

6．株主還元…………… p42

2021年11月9日で「業績予想の修正」を適時開示しています。

(単位：百万円)

売上高

5,100 5,200

2022年3月期 2022年3月期
(当初予想) (修正予想)

営業利益

320 350

2022年3月期 2022年3月期
(当初予想) (修正予想)

経常利益

290 900

2022年3月期 2022年3月期
(当初予想) (修正予想)

当期純利益

250 440

2022年3月期 2022年3月期
(当初予想) (修正予想)

品種別の今後の見通し

★情報産業用刃物

半導体関連、リチウムイオン電池関連が好調である。全般的に景気が回復基調にあり、さらなる伸びに期待できる。

★産業用機械及び部品

設備投資の増加など、受注環境が好転し、回復基調にある。機械メーカー向けの精密部品を中心に需要増を見込む。

★鉄鋼用刃物

高炉メーカーの生産縮小、自動車向け半導体不足などが影響する見通し。既存製品との差別化で需要喚起。

★製紙パルプ・食品用刃物

段ボール向けは堅調に推移する見込みである。食品用は回復が想定より鈍いものの、好調時まで回復すると見込む。

1．東洋刃物の概要…………… p2

2．東洋刃物の強み…………… p17

3．業績の概要…………… p23

4．中期経営計画…………… p28

5．今後の見通し…………… p40

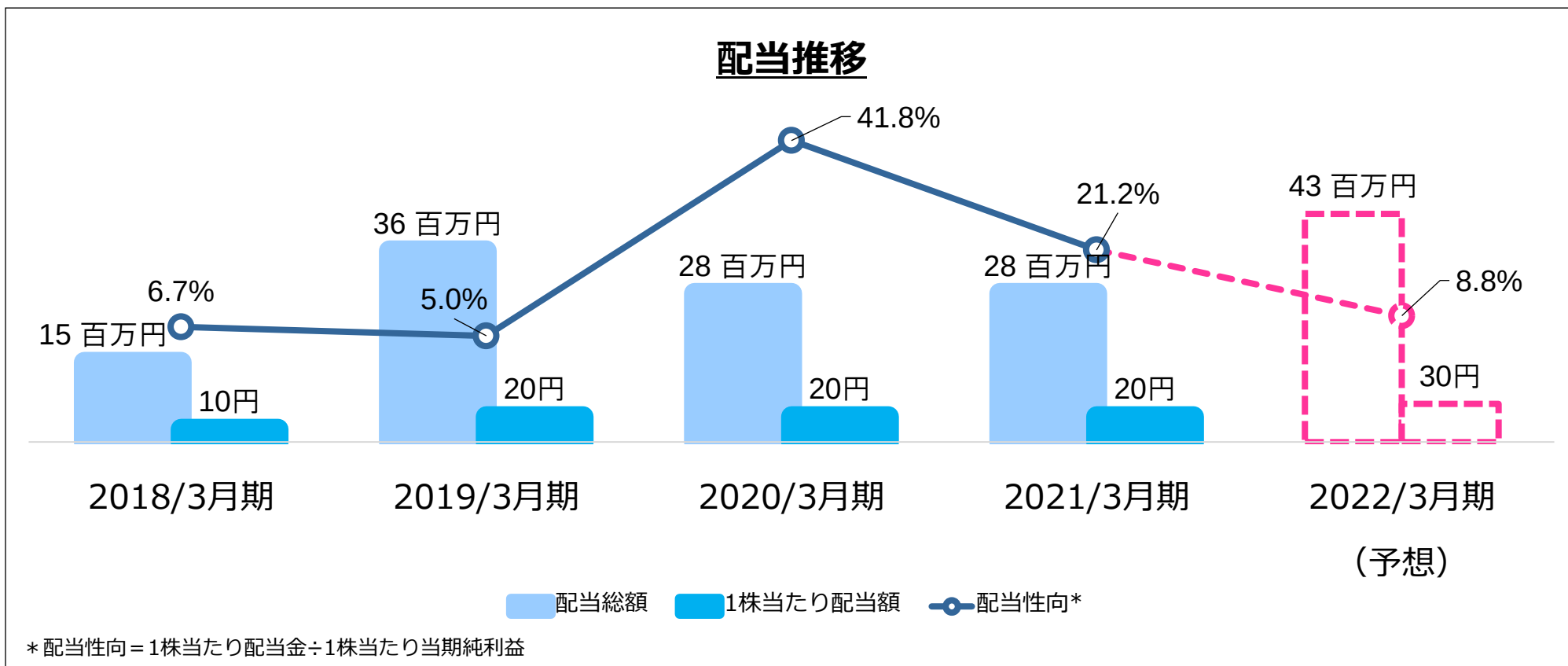
6．株主還元…………… p42

■基本方針

当社は、将来に向けた事業展開のため財務体質と経営基盤の強化を図り株主資本の充実に努めるとともに、収益動向などを総合的に勘案し業績に相応した配当を実施していく方針であります。

■配当

当期の配当につきましては、2022年3月期の業績の着地見込み及び今後の業績・事業展開等を勘案し、**1株当たり30円**の配当予想としております。



(単位：円)

株価推移



* 終値ベース

* 2015年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。

◆連結経営指標

(単位：百万円)

		2019/3月期	2020/3月期	2021/3月期	2021/9月期
P/L	売上高	5,690	4,920	4,599	2,505
	営業利益	422	164	175	162
	経常利益	352	120	100	748
	当期純利益	569	68	114	669
B/S	現預金	2,524	1,803	2,047	2,074
	資産計	7,372	6,122	6,124	6,915
	負債計	4,997	4,299	4,186	4,297
	純資産計	2,375	1,823	1,938	2,618
自己資本比率		32.2%	29.7%	31.6%	37.8%
簡 易 CF	営業活動によるCF	566	398	509	213
	投資活動によるCF	△ 45	△ 395	△ 114	△ 98
	フリーCF	521	3	395	115
	財務活動によるCF	△ 123	△ 722	△ 151	△ 86

当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益

◆その他指標

	2019/3月期	2020/3月期	2021/3月期	2021/9月期
自己株式取得額	—	—	—	—
配当金総額	36百万円	28百万円	28百万円	—
総還元性向	5.0%	41.8%	21.2%	—
時価総額	27億42百万円	13億97百万円	15億11百万円	22億26百万円
連結PER（株価収益率）	4.0倍	16.2倍	10.2倍	2.6倍
連結PBR（株価純資産倍率）	1.1倍	0.6倍	0.6倍	0.7倍
連結ROE（自己資本利益率）	27.7%	3.3%	6.1%	29.4%

ご清聴ありがとうございました。

**本件に関するお問合せは、
管理部 IR担当（022-358-8911）までお願いいたします。**

本資料は証券投資に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。また、本資料には、計画、方針、経営戦略などといった、将来に関する記述があります。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づく予測、計画等を基礎として作成しているものであり、不確定要素を含んでいます。従って、様々な要因の変化により、実際にはこれらの記述と異なる結果となる可能性があります。

そのため、実際に投資を行う際は、本資料の情報に全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えいただき、投資に関するご決定は皆様ご自身のご判断で行うようお願いいたします。また、投資に際して生じたいかなる損失に対し当社が責任を負うものではありません。

また、本資料の内容、テキスト、画像等の無断転載・転用はお断りさせていただきます。

